

公共事業再評価調書

主管課：都市計画課

1 事業概要	事業名：残波岬公園整備事業				
	事業種別：都市公園事業	事業主体：読谷村		前再評価時事業期間：S58～H11	
	事業箇所：読谷村字宇座地内	根拠法令：都市公園法		今回事業期間：S58～H16	
	総事業費(百万円)：1,922	費用内訳：補助 1/2		事業量：45.0ha	
(整備目的)	残波岬地域は、自然景観に恵まれた風光明媚な景勝地であり、沖縄海洋博覧会当時の本会場候補地でもありました。又、琉歌の「こてい節」「上り口説」にも歌われ、その名称も古くから県民に親しまれてきたところである。このような背景をもつ残波岬一帯について海岸利用とあわせ自然条件の活用、特色ある景観作りを図り、観光地としての発展及び、村民の文化的意識を有する憩いの場として整備を図る。				
2 再評価 該当項目	<input type="checkbox"/> ①事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ②事業採択後5年間を経過して未着工 <input checked="" type="checkbox"/> ③再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④事業の中止				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ①用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ②調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③事業の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ④予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨その他()				
4 事業の 進捗状況 (H15.3時点)	村内の福祉施設及び給食調理場等、早急な施設整備により、財政上、予算確保が困難となった為。				
	項目	事業費(百万円)	整備(ha)	用地取得(千㎡)	
	計画	1,922	45.0	449,999	
	実施済率	1,842 96%	43.8 97%	444,513 99%	
5 事業効果の 評価指標 (検討年 50年) (基準年 H15) (単位:百万円)	① 利用に係る便益 31,885		① 用地費 802		
	② 環境に係る便益 26,280		② 施設費 2,276		
	③ 災害に係る便益 53,028		③ 維持管理費 3,160		
	基準年換算(B) 111,193		基準年換算(C) 6,238		
	費用便益比 (B/C) = 111,193/6,238 = 17.8				
6 事業を巡る 状況の変化	①社会経済：公園区域内の灯台の一般開放や周辺地区に宿泊施設が整備され、県内外からの観光客が増えるなど、観光地としても重要になっている。 ②地元・自治体：地域住民から整備進捗及び供用開始についての問い合わせ等があり、地元の関心も高い。 ③利害関係者：用地交渉が難航している地権者がいる。				
7 事業の必要性・効率性	①事業の必要性・緊急性・有効性など： 当該公園周辺には、宿泊施設の整備及び灯台の一般開放等で、県内外からの観光客が増加している。これら観光名所に対応するため公園整備が必要である。 ②事業の効率性(代替案等の可能性)： 整備率97%、用地取得率が99%であることから、現計画を推進する。 ③事業効果の発現状況 自然景観に恵まれた場所であり、県内外からの観光客及び多くの公園利用者に活用されている。				
8 今後の対応 方針・見直し	①事業計画等：現計画どおり事業を進め、平成16年度に完了する予定である。 ②対住民関係：引き続き用地交渉をすすめる。 ③執行体制等：現行体制で問題なし。				
9 評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ②事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③事業の中止				